




に聞きたい！ ～3月定例会での一般質問～

※一般質問とは、町行政を質(ただ)すために、議員が町長や教育長に対して行う質問のことです。

質問者	質問内容	町長・教育長答弁(要旨)	一般質問を終えて(質問者の感想)
 <p>鈴井議員</p>	<p>米の直接支払交付金打ち切り後の本町農業施策は</p> <p>本町の教育委員会制度改革の成果は</p>	<p>町長 産地指定を受けるなど米の販売価格を上げる取組みが行われていること、また、交付金廃止による財源は、新たな米に関する施策や担い手育成に配分されるよう関係団体と共に要請し、農業所得の向上が図られるよう努めていく。</p> <p>教育長 首長が教育行政に果たす役割が明確になり、これまで3回開催した総合教育会議において協議を行うことで、地域の教育課題や教育政策の方向性のあるべき姿を共有して進めることが出来た。</p>	<p>今後の本町の農業振興を図るために、農業施設の整備などについて前向きな答弁を得られた。また、傍聴者の方にも興味を持っていただき、アンケートで多くの意見をいただいたことが大変嬉しい。</p> <p>教育について、改革理念への反映に対する答弁を引き出せず反省が残った。</p>
 <p>進藤議員</p>	<p>本町の福祉避難所の考えは</p>	<p>町長 福祉避難所としてゆめりあを考えているが、ゆめりあは浸水想定区域内のため、水害の場合はスポーツセンターや小中学校内に福祉避難スペースを確保する。</p>	<p>本町の災害時要援護者に対する福祉避難所の町の考え方について理解できた。</p> <p>「今後は、宿泊施設も福祉避難所として検討したい」との答弁をいただいたので、その動向を見守っていきたい。</p>
 <p>白石議員</p>	<p>本町観光資源活用の方向性は</p> <p>災害のための河道整備のありかたは</p> <p>一流スポーツ選手を目指す子供たちへの支援の考えは</p>	<p>町長 平成29年度はこれまで2年間実施している北大外国人留学生による観光資源発掘事業の最終年。本町観光の周遊ルートづくりに繋げたい。また、観光振興計画の策定にあたり、観光資源を洗い出し、資源の活用について検討していきたい。</p> <p>町長 流出土砂の河道内堆積は大雨の水位上昇に少なからず影響があると危惧している。丘陵提整備も合わせ治水事業の促進に向け、石狩川治水促進期成会とも連携して国に要望していく。</p> <p>教育長 子ども達が、夢や希望に向けて目標を持てるよう、少年団活動や中学校部活動への支援を行っていく。高校進学後における「スポーツ選手を目指す子供たち」に特化した支援は考えていない。</p>	<p>これまで行ってきた観光事業を総合的に組み合わせ、より充実した取組みにつなげるという前向きな答弁と、河道内堆積に対する対策の必要性を感じていただき、積極的に各関係機関への要望を行っていくという答弁から、今後の取組みに期待したい。</p>